

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	国際交流活動推進事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'03	交流 ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	'02	2 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	姉妹都市市民・外国籍市民・留学生・市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他 】【協働： 市民、外国籍市民 】		
	目的・目標		事業の概要
姉妹都市市民、外国籍市民、留学生、市民等が、交流会等を通じて、活発な交流が行われています。		自国の文化を高めるため、異文化を理解するとともに、市民主体の様々な交流事業を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	交流会等開催回数			単位	回
	説明・算定式	交流会開催、ホームステイ受入れ等回数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	4	4	4	4	
	実績	5	2	3		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	交流会等参加者数			単位	人
	説明・算定式	交流会参加者、ホームステイ受入れ人数等				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	200	200	200	200	
	実績	216	302	353		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：若干遅れている					
	遅れている理由	カンサス大学が来なかったため、ホームステイ及び交流がなかったため				
平成26年度の主な取組と成果						
姉妹都市からの青少年派遣団等の市民交流会を開催し、ローレンス市民、外国籍市民、市民で異文化理解を深めました。ホームステイについては、国際交流協会と協力し対応することができました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	国際化の進展に伴い、市民の国際理解と国際感覚の醸成のニーズが高まっており、異文化に身近にふれることができる当事業の必要性は高いです。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	多くの市民が参加し、異文化理解を深めるためにも、情報提供を幅広く行い、継続的に事業を行うことが必要です。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	国際化の進展に伴い、異文化理解を深めるためにも、多くの市民が手軽に参加することができる事業展開を行っているため、事業実施については妥当です。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	市はサポート的なことを行い、事業は市民及び市民ボランティアにより実施しています。	高中低
今後に向けた課題の分析 国際交流事業に、市民が主体となった様々な交流事業を行うことで異文化理解と多文化共生により文化を高める必要があります。姉妹都市ローレンス市を中心にホームステイの受け入れを充実し、交流がスムーズにできることが大切です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		各種交流会の開催やホームステイの実施等	各種交流会の開催やホームステイの実施等、PR活動の強化	各種交流会の開催やホームステイの実施等、PR活動の強化	各種交流会の開催やホームステイ、25周年記念事業の実施等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	880	830	830	1,580
事業費 (A)		880	830	830	1,580
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 姉妹都市ローレンス市の情報を集め、姉妹都市提携25周年平塚市訪問団を派遣いたします。
課長コメント 人口減少や国際化の進展に伴い、市民が国際理解と国際感覚の醸成を深めることが必要と考えます。今後も平塚市国際交流協会と連携して市民主体の活発な交流を目指します。